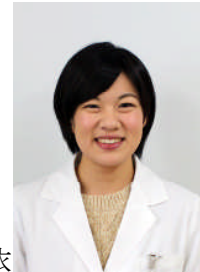


和歌山病院での実習を終えて



濱田 芽依

今回、第3内科の臨床実習の一環として、12月5日、6日の2日間、和歌山病院にて実習させていただきました。

幾つかのセミナーを受けさせていただきましたが、その中で特に、南方院長にいただいた胸部レントゲンの読影のセミナーが強く印象に残りました。いままでの講義や実習でも胸部レントゲンについて学ぶ機会はありましたが、暗記することが多く、よく分からない検査手段と苦手意識を持っていたことに今回のセミナーで気づかされました。また、受け身になりがちな大学の講義とは異なり、自分の考えを述べ、間違っている場合はその原因を議論しながら進んでいくセミナーはとても楽しかったです。暗記だけでないしっかりと身になる考え方を学ぶことができ、本当に勉強になりました。今後、レントゲンを読む際も、それ以外の場面でも、考えることを忘れず励みたいと思います。

また、駿田副院長に案内していただきながら、実際に結核病棟を見学できたことも新鮮でした。空気感染する結核に対して、本当に必要な感染対策が何であるかを学び、実際に病棟、病室を見ることで、机上の知識から進んだ実践的な理解を得ることができました。今後、実際に結核、もしくは結核疑いの患者さんと接するときに、過剰な反応をすることなく対応できるという点でもとても貴重な体験でした。

最後にはなりますが、お忙しい中、熱心に教育してくださった南方院長、駿田副院長をはじめとした先生方、快適な実習を送れるよう尽力してくださった病院のスタッフの皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。